



j-bmpは、シンクネイチャーのフリーミアムサービスですが、民間企業様による本サイトの情報のご利用に関しては、お問合せください。

 <https://think-nature.jp/contact>



沿岸優先地域分析

Coastal Priority Area Analysis

陸地から 10km 以内の海域（沿岸域）を対象に、「日本の沿岸にすむ生き物を豊かに保ち、絶滅のリスクを最小限に抑えるために、特に重要な地域はどこか」という観点から、Zonation（ゾナーション）という計算プログラムを使い、すべての生き物をまとめた総合的な保全優先地域と、グループごとの保全の優先地域を点数化（スコアリング）しました。

この分析では、特定の生き物のグループ（分類群）だけに偏らないよう、すべてのグループの重要度（重み）を均等に設定して解析しています。つまり、沿岸域の 14 のグループ（哺乳類、海鳥類、爬虫類、魚類、ナマコ類、ウニ類、ヒトデ類、クモヒトデ類、ウミユリ類、刺胞動物類、イシサンゴ類、海藻類、甲殻類、貝類）が、すべて同じ割合で貢献しています。なお、クラゲやイソギンチャクの仲間である刺胞動物類については、グループ単位（属レベル）の分布データを使って解析しています。

【関連リンク】

Kusumoto B., Shiono T., Konoshima M., Yoshimoto A., Tanaka T., Kubota Y. (2017) How well are biodiversity drivers reflected in protected areas? A representativeness assessment of the geohistorical gradients that shaped endemic flora in Japan. *Ecological Research*, 32: 299-311

<https://esj-journals.onlinelibrary.wiley.com/doi/epdf/10.1007/s11284-017-1451-6>

Lehtomäki J., Kusumoto B., Shiono T., Tanaka T., Kubota Y., Moilanen A. (2018) Spatial conservation prioritization for the East Asian islands: A balanced representation of multitaxon biogeography in a protected area network. *Diversity and distributions*, 25: 414-429

<https://onlinelibrary.wiley.com/doi/full/10.1111/ddi.12869>

Zonation algorithm and software

<https://zonationteam.github.io/Zonation5/>

久保田 康裕, 楠本 聞太郎, 藤沼 潤一, 塩野 貴之 (2017) 生物多様性の保全科学：システム化保全計画の概念と手法の概要. *日本生態学会誌* 67: 267-286 https://www.jstage.jst.go.jp/article/seitai/67/3/67_267/_pdf

久保田 康裕, 楠本 聞太郎, 藤沼 潤一, 塩野 貴之, 鈴木 亮, 福島 新, 小澤 宏之, 宮良 工 (2019) 生物多様性地域戦略を空間的保全優先度分析で具現化する：沖縄県の生物多様性保全利用指針 OKINAWA 作成の事例. *日本生態学会誌* 69: 239-250

https://www.jstage.jst.go.jp/article/seitai/69/3/69_239/_pdf/-char/ja



株式会社シンク・ネイチャー <https://think-nature.jp/>
〒901-2102
沖縄県浦添市前田3丁目15番10号 Ocean Current 202